

はにいいい 「わかんない」

平成27年10月19日

中学校三年生の国語の授業です。

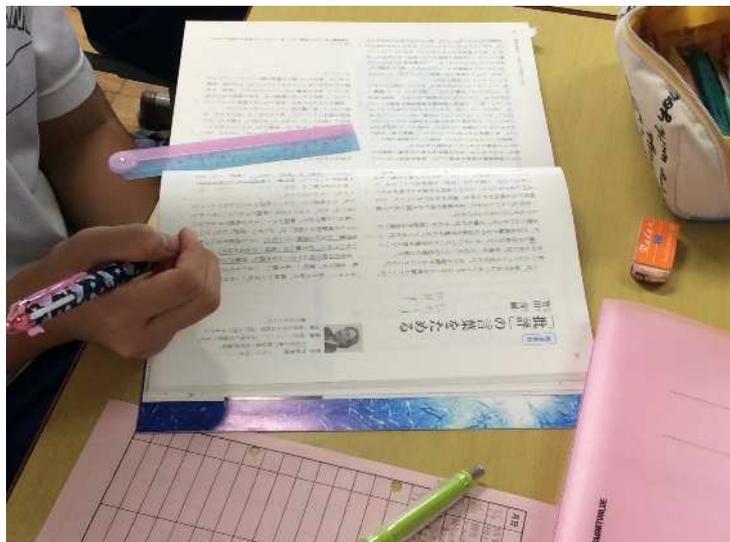
課題は、本文に書かれた「批評」と「批判」の違いをノートに書き出すこと。個人で考えたことをグループで発表し合う時間です。

ある生徒がボソッと呟きました。

「わかんない。国語、苦手！」

少し離れたところにいた先生は、

「じゃあ、友だちの意見を聞いてみようよ。」とその生徒に返しました。



「単なる好き嫌いは『批判』で、理由が言えると『批評』に近づく、って書いてあるよ。」

「あっ、それは見つけた。」

「『批判』は不平不満があって感情で物事を言ってしまう、ってこと。」

「うん。」

「でも、『批評』には自分なりの理由、『価値基準の根拠』があるってことかな、それをはっきりさせて物事を評価する、ってことが必要なんだよ。」

「なるほど、そういうことか。」

話し合いの時間が終わりに近づいた時、

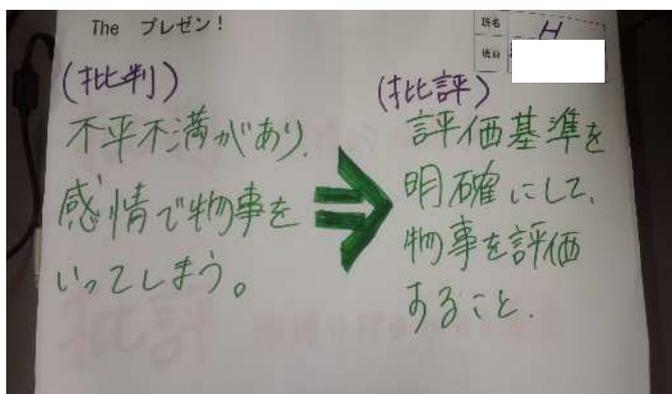
「うち、発表用紙にまとめを書きたい！なんか、まとめられそう」

と言った生徒がいました。

先ほど「わかんない」と言っていた子です。

一字一字、集中してていねいに書き進めます。

「できた！」と満面の笑みで頭を上げた時には、休み時間になっていました。



『はにいいい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は inochi4027@pref.kanagawa.jp